

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委 員：岡田則之、島田修、反町清
大谷浩一、山本栄治

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
R O T A R Y

100 Years

特別例会 [会場：行田市立図書館] (7月28日)

行田ロータリー文庫 図書贈呈除幕式



昨年度来私達のクラブでは、国際ロータリーの創立100周年記念事業として、昨年新築オープンしました行田市立図書館に、3ヵ年計画で「行田ロータリー文庫」を設置しまして、昨年968冊、本年は938冊併せて1906冊の図書をすでに寄贈させていただきました。

「行田ロータリー文庫」の内容は、一流スタッフが選んだ、赤ちゃんが初めて出会う絵本から、幼稚園くらいのお子さんが楽しめる絵本、小学生向けの物語や昔話の本など、大体0歳から10歳くらいまでのお子さん向けの楽しい本が中心になっています。

しかも「行田ロータリー文庫」には、本屋さんには少ない古い本から本屋さんにもまだ揃っていない新しい本まで揃っていますので皆様には大変好評を頂き、貸し出しも多く昨年は少し苦情が出るほどでありました。

そこで本年は昨年より少し早めに寄贈して、本日第2回目の寄贈書のオープニング（除幕式）を行う事になりました。



会長挨拶 黒瀧陽夫 会長



会場にお集まりの皆さん、今日は！

本日は行田ロータリー文庫の本年度の除幕式を挙行を御案内いたしましたところ、沢山の方にお集まり頂き、ありがたく感謝申し上げます。

さて、行田ロータリークラブは国際ロータリー100周年の記念事業として、昨年は行田市立図書館に、約1000冊、金額で100万円相当の児童図書を寄贈させて頂きました。本年も先日の24日（土）に博物館でおこなわれた「アジアの子供たちの絵日記展」の、オープニングセレモニーの中で横田行田市長様に同額の規模の図書目録を贈呈させて頂きました。

今年で約2000冊になった行田ロータリー文庫は、東京の教文館さんの土屋智子さんのお骨折りにより、児童の育成の一助となるべく選書をおこなっていただきました。先ずこの事に関して御礼を申し上げます。又、このコーナーを提供頂き蔵書に

御努力頂きました行田市立図書館に対しましても、厚く御礼申し上げたいと思います。

今、日本の教育は曲がり角に来ており、将来の教育の方法に付いて色々な事が模索されておりますが、外からみておりますとそのどれもが果たして子供たちや日本の将来を考えたサイドにたって、ものが考えられているか疑問であります。

「人づくりは100年の計」と言われてきておる通り付け焼刃の方針では将来の人づくりは出来ません。地道な長い目でみた施策こそ必要ではないでしょうか？

先日の博物館での席上でも申し上げましたが、読書の効用は地道であります、大変効果のある方法であると思います。

紀伊国屋の松原会長が「読む事はかんがえることであり、得られた知識は忘れたところに知恵になる」とおっしゃっていましたが、全ての行動の基本になる思考力の育成には読書の効果は大変大きなものがあります。

この行田ロータリー文庫が、御利用された皆さんのいくらかでもその成長の手助けになれば幸いです。どうか十分に御利用いただきたいと思ひます。

本日はこの後、読み聞かせボランティアの「お話タンバリン」の皆様の御協力により、読み聞かせのコーナーも設けております。ぜひ御参加頂きたいと思ひます。

子供たちの頭はまるで砂漠に水をまくように全てのものを吸収して行きます。

読み聞かせの効用も実際に体験していただければと思ひます。

其れでは以上を持ちまして除幕式にあたり御挨拶とさせて頂きます。





おはなしタンバリンの皆様による
読み聞かせ教室